福山市立宜山小学校　スタートカリキュラム計画

自ら考え学び社会に貢献できる子どもの育成

令和８年４月作成

学校教育目標

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

育ってほしい児童の姿

入学当初の児童の姿

○新しい環境・友達・先生との出会いに期待感を持っている。
話す 困っている友達に対して、進んで声を掛けることが難しい。
聞く 興味のない話題に対して、最後まで話を聞くことが難しい。

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活する力	・学校生活に必要な約束やルールを知り，身の回りのことを自分でする。 ・学校生活のリズムに慣れる。 ・自分から進んで挨拶する。				・学校生活のリズムが身に付き，約束やルールを守る。 ・時間を意識して行動できる。				・自分のめあてを考え，それを守る。 ・誰に対しても自分から進んで挨拶する。		
集団生活力	・新しく出会う先生や友達と進んで関わる。 ・友達のがんばりをみとめたり，よさを見つけたりする。				・相手の思いに気付き，児童同士で折り合いを付けようとする。 ・周りを見て，状況を見ながら行動する。				・自分の思いを話したり，友達の思いを聞いたりして，関わり合いながら活動する。 ・相手の思いを考えながら，進んで話しかけたり，手助けしたりする。		
学習する力	・気付いたことや疑問に思ったことなどを先生や友達に進んで話す。 ・先生や友達の話に興味をもち最後まで聞く。				・自分の考えをもつことができる。 ・考えたことを文章で表現したり，隣の人と話し合ったりする。 ・友達の話を反応しながら聞く。				・知りたい情報を人に聞く，本で調べるなどして収集することができる。 ・自分の考えや意見を分かりやすく書いたり伝えたりする。		

めざす子ども像

○広げよう一日一つ笑顔の輪

○育てよう相手の心に気づける心

○つまずきも友と咲かせる学びの花

３月の児童の姿

○

遊びの経験→学びの連続性

生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実

自然との関わり

保育園児との交流

春
・春見つけ：校庭，学校の周り
・あさがお

国語：どうぞよろしく
　　おおきくなった（観察カード）
音楽：うたっておどってなかよくなろう




夏
・夏見つけ（草花遊び）：校庭，大蔵神社
　あさがおで色水遊び，こすりだし遊び
・シャボン玉遊び



図工：すなやつちとなかよし
算数：かたちあそび
学活：安全な登下校




秋
・秋見つけ（秋のものを使った遊び）：校庭，大蔵神社
　（おもちゃランド）（虫と仲良し）
・あさがおでリース作り

音楽：楽器と仲良くなろう
算数：ふえたりへったり，たしざんとひきざん
国語：しらせたいな見せたいな
図工：ぺったんころころ




冬
・冬見つけ：校庭，大蔵神社
・室内遊び（こま，けん玉，かるた，風で動くおもちゃ等）
・チューリップ

算数：２０より大きい数，
　　おなじ数ずつわけよう
体育：体つくり運動遊び
図工：はこでつくったよ




自分自身と身近な人々，社会との関わり

教職員・上級生との交流

はじまりはじまりがっこうたんけん

・１年生を迎える会
・学校探検　・学校の秘密を見つけよう
・民生委員の人と一緒に紙飛行機大会

・学活：たのしい給食，小学校のきまり，はじめての小学校
・道徳：はりきりいちねんせい，あかるいあいさつ
・国語：なんていおうかな（場面，状況による話し方）
・算数：入学おめでとう，１０までのかず






民生委員さんとの交流

なつやすみがやってくるよ

・学活：夏休みのきまり
・国語：すきなことなあに

いっしょにいるとあんしん

・しごと調べ
・自分の役割を見つけよう

・道徳：サバンナのこども
・国語：てがみでしらせよう

大きくなったね１年かん

・１年間を振り返ろう
・新１年との交流会

保育園児との交流

・国語：いいことといっぱい１年生
　　てがみでしらせよう（招待状）
・学活：２年生に向けて
・道徳：大すきだから

段階的学校生活への慣れ

個々の安心感の構築	学習に応じた環境構成（人・もの・こと等）	【人（安心・信頼関係）】 ・児童との信頼関係を築くために，教師の言葉，心情，態度など教師が児童にとって環境の一部であることを意識する。 ・他の園から入学してきた友達と交流できるような学級レクを行う。 【もの（安心環境）】 ・一日の流れの分かる掲示を工夫し，活動の見通しを持つことができるようにする。 ・活動や話を始める合図として，手遊びや人形などを用いる。 【こと】 ・入学後１０日間は，生活の見通しをもたせるために，登校後の動きや活動内容を統一する。 ・学習内容に動きを取り入れ，集中できる時間を少しずつ増やす。 【時間】　１時間を１５分程度のモジュールに分けて授業を行う。	【人】 ・児童会活動や行事などの取組を通して，他学年の知り合いを増やす。 ・学級レクや係，当番の仕事を通して，学級内での居場所を作ったり自分の役割を意識したりできるようにする。 【空間】 ・児童の興味のあるものを「〇〇コーナー」として設置する。 【もの（安心環境）】 ・分かりやすく話を聞けるようにするために，実物や道具を用意する。 【こと（環境）】 ・見通しがもちにくい新しい行事は，画像やビデオなどで見通しがもてるようにする。 ・行事に関連のある曲などを自由に流せるようにＣＤを置いておく。	【人】 ・新一年生の存在に気付き，自信や進級への期待をもてるようにする。 ・一年生との交流で，園児が入学を心待ちにしてくれるような活動を考えることができるようにする。 【もの（安心環境）】 ・児童の学習の成果物を教室に置き，自らの成長に気付くことができるようにする。 【休み明けの配慮事項】 ・一日の流れを確認し直し，生活リズムを整える。 ・学級レクの時間を十分にとり，友達や先生と触れ合う時間を確保する。
	園・所との連携（子供同士の交流）	・保育所の先生に小学校に来てもらい，手遊びや読み聞かせをしてもらう。（4 月下旬、各園所１回） ・運動会練習に保育園児が参加する。   	・小学校の音楽発表会の練習に保育園児が参加する。 ・園児との交流活動を仕組み，園児とのつながりを深める。	・年長児が学校体験に来る。 ・５年生と年長児が交流する。 ・１年生が１年間の振り返りを園児に発表し，小学校への期待を高める。
	組織との連携（教職員の連携）	・連絡会を実施する。 ・クラス分けをする際，情報交換の場を設ける。 ・管理職が入学式・入園式等お互いの行事に参加する。 ・互いの目標を理解した上で授業参観を行う。 ・保育所の先生に，手遊びや絵本の読み聞かせをしてもらう。 ・１学期の１年生の成長についての交流を行う。	・連絡会を実施する。 ・小学校と園所等で合同交流会を行う。 ・保育所の所内研修に全職員が参加する。 ・校内にスタートカリキュラムのことを伝え，共通理解を図る。	・連絡会を実施する。 ・来年度の１年生の様子を参観しに行き，配慮が必要な児童の交流をする。 ・全職員の共通理解を図り，来年度への協力体制を整える。 ・保育所の先生に小学校に来てもらい，子どもの様子を見てもらう。
	家庭との連携	・子供の様子を伝え合い，保護者の思いを受けとめながら信頼関係を築いていく。 ・連絡帳や学年通信で，頑張っていることやできるようになったことなどを知らせ，家庭で褒めたり話題にしていただいたりするようにする。 ・家庭と学校で連携して家庭学習に取り組む。	・連絡帳や学年通信で，頑張っていることやできるようになったことなどを知らせ，家庭で褒めたり話題にしていただいたりするようにする。 ・行事の予定などを事前に伝えることで，保護者も学校生活に見通しをもつことができるようにする。	・連絡帳や学年通信で，頑張っていることやできるようになったことなどを知らせ，家庭で褒めたり話題にしていただいたりするようにする。 ・２年生に向けて，頑張りたいことについて伝え，保護者と連携して取り組む。